

製品安全データシート

MSDS番号: P003YH

作成日: 2011/10/1

更新日: 2016/1/7

1. 製品及び会社情報

製品名	Ab-Capcher ExTra
製品コード	P-003
提供者	
社名	プロテノバ株式会社
住所	香川県東かがわ市西村1488番地1
電話番号	0879-49-0702
FAX番号	0879-49-0703

2. 組成、成分情報

物質の状態

構成成分	CAS番号	% (v/v)	化学式	ENCS	ISHL	PRTR
エタノール	64-17-5	~20	C ₂ H ₅ OH	(2)-202	-	-
アガロース	9012-36-6			-	-	-

3. 危険有害性の要約

危険有害性分類

分類の名称	引火性液体
危険性	引火しやすい液体で、蒸気は空気と混合して引火、爆発する危険性がある。
危険有害性情報	引火性の高い液体および蒸気 眼刺激 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ 眠気やめまいのおそれ 長期にわたる、または、反復ばく露により肝臓の障害 長期にわたる、または、反復ばく露により中枢神経系の障害のおそれ
環境影響	データなし

4. 応急措置

眼に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。眼の刺激が持続する場合は医師の手当てを受ける。
皮膚に接触した場合	直ちに汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水と石鹼で洗い流す。皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。
吸入した場合	空気の新鮮な場所へ移動し、毛布等で保温のうえ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水を飲ませて吐かせる。気分が悪いときは医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を用いて消火する。 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周辺に散水して冷却する。容器が火炎につつまれた場合、爆発の恐れがあるので近付かない。
消火剤	水、粉末、炭酸ガス、乾燥砂

6. 漏出時の措置

除去方法	浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除き、発火源となるものは持ち込まない。十分な換気を行う。 漏出物は非可燃性の吸収剤で吸い取り、適切な廃棄容器に回収する。その際は保護具を着用して作業する。 廃棄に関してはセクション13を参照。
------	--

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	みだりに火気、その他点火源となる恐れのあるものに接近させ、若しくは注ぎ、蒸発又は加熱しないこと。 取扱い場所に可燃性のもの、又は酸化性のものを置かない。 換気が十分な場所でのみ使用し、換気が不十分な場合には適切な呼吸用保護具を着用する。蒸気を吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済の代替容器に入れ、密栓して保存する。 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。モレ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。
保管	直射日光を避け、冷蔵庫(4-8°C)に密閉して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。発火源及び酸化性物質に近づけない。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会	未設定(2009年版)
ACGIH	STEL 1000ppm (2009年版)
設備対策	換気を十分に行う。屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	実験衣を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	懸濁液
臭気	アルコール様(弱い)

色	液体:無色 / ゲル:白色
引火点	密閉式:38-43°C
発火点	データなし
可燃性	あり
自己反応性・爆発性	データなし
溶解性	水に容易に溶解する。

10. 安定性及び反応性

発火性	データなし
爆発範囲	データなし
安定性・反応性	通常の取扱い条件においては安定。
避けるべき条件	発火源に近づけてはいけない。

11. 有害性情報

製剤としてのデータはない。エタノールについて記載する

皮膚腐食性	データなし
刺激性(皮膚、眼)	ラビット 400 mg open; Mild (皮膚)
	ラビット 20 mg / 24H; Moderate (皮膚)
	ラビット 500 mg; Severe (眼)
	ラビット 500 mg / 24H; Mild (眼)
感作性	データなし
急性毒性(50%致死量等を含む)	
	経口 ヒト LD ₅₀ 1400 mg/kg
	ラット LD ₅₀ 7060 mg/kg
	経皮 ラビット LD ₅₀ 20 g/kg
	吸入 マウス LCL ₀ 39 g/m ³ / 24H
	ラット LC ₅₀ 20,000 ppm / 4H
慢性毒性	データなし
がん原性	データなし
変異原性	微生物 サルモネラ菌 (+S9); 陽性
	染色体異常 ハムスター (生体外); 陽性
	小核 マウス (生体内・腹腔内); 陽性
生殖毒性	データなし
催奇形性	データなし
その他	なし

12. 環境影響情報

生物分解性	エタノール:容易
蓄積性	データなし
魚毒性	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 アフターバーナー及びスクラッパーを具備した焼却炉で焼却する。
燃え易いので十分注意しながら点火すること。
若しくは、許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

輸送上の注意 特になし

15. 適用法令

消防法 該当せず
毒物及び劇物取締法 該当せず
労働安全衛生法 施行令別表第1-4 危険物(引火性の物)
施行令第18条の2別表第9(名称等を通ずべき危険物及び有害物)
船舶安全法 該当せず
航空法 施行規則第194条危険物告示別表第1 3 引火性液体
PRTR法 該当せず

16. その他の情報

引用文献 エタノール(ナカライテスク株式会社)の製品安全データシートMSDS No.14713を参照。
ゲル保存液(GEヘルスケアバイオサイエンス株式会社)の製品安全データシートMSDS No.17-0584-00JAを参照。
エタノールの危険有害性の要約(オンライン安全衛生情報;安全衛生情報センターホームページ)を参照。

注意事項 危険有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関して保証するものではありません。全ての化学製品には未知の危険有害性がありえるため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。